# 一般社団法人 山形県言語聴覚士会 会報

第45号(2018年9月)

## 会長 挨拶

第48号会報に寄せて

一般社団法人 山形県言語聴覚士会 会長 荒井 晋一

平素より当会の運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。 今年度より山形県言語聴覚士会の会長を務めさせていただきます荒井晋一です。長い間、強いリーダーシップを発揮され、県士会にご尽力されてきた 田口前会長からの引き継ぎとあって、身の引き締まる思いでおります。会員 の皆様には、引き続きのご支援ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

本誌編集中、西日本を中心とした水害により、多くの方が被災されました。心よりお悔やみとお見舞い申し上げます。

さて、平成30年度の医療と介護の同時改定では、双方の柱として、地域包括ケアシステムの構築推進の方針が打ち出されました。地域包括ケアシステムの構築は、全ての人の、全てのライフステージに関わる事業です。先の総会において、平成30年度、山形県言語聴覚士会は、地域包括ケアシステム構築の実現に向けて、専門領域ではリーダーシップを発揮しながら、関係各所との連携の姿勢を保持していく方針を打ち出しました。



地域ケア会議助言者資質向上事業では、東北6県の言語聴覚士や県内多職種を交えた集合研修を企画しております。また、通いの場における専門職資質向上事業では、失語症意思疎通支援者養成事業とタイアップする形で、県内外の失語症支援の先進地域への視察団派遣を企画しております。随時、募集案内を発信させていただきます。

県内に言語聴覚士が全く配置されてない市町村も少なくありません。専門職団体として、社会的課題に挑戦する責務はありますが、全ての課題に対応することは難しい状況下に置かれております。重要性・包括性・将来性・達成可能性・コスト等、いくつもの視点から重点課題を判断し、課題解決にあたっては、より効率的かつ効果的な組織活動が展開できる県士会の体制整備を進めてまいります。

最後になりましたが、県士会理事一同、会員皆様の意見を踏まえながら、専門職団体としての社会的役割を 果たしていけるよう、県士会を運営していく所存でございます。本年度も、県士会事業へのご理解とご協力を 何卒お願い申し上げます。

### 役員会 議事録

| 3回 | 2018.4.8  | 山形市保健センター   | 田口、荒井、石川、千葉、沼澤、清野、<br>渡邉、中嶋、我妻、石塚、大友        | 各部門からの報告、今年度事業計画、今年度予算、<br>地域ケア会議助言者資質向上・通いの場における専門職<br>資質向上事業計画案、今年度の組織図、マニュアル等 |
|----|-----------|-------------|---|--|
| 4回 | 2018.5.19 | 山形市総合福祉センター | 田口、荒井、石川、千葉、沼澤、清野、<br>渡邉、中嶋、石塚、大友           | 各部門からの報告、ブロック活動報告、総会について、<br>組織図について、次年度の計画等                                     |
| 5回 | 2018.6.10 | 山形市保健センター   | 荒井、石川、千葉、沼澤、清野、<br>渡邉、中嶋、石塚、菊池、伊藤、<br>宮川、我妻 | 今後の役員会について、研修について、動向調査について等  |

# 平成 30 年度 一般社団法人 山形県言語聴覚士会 総会

平成30年6月10日(日)に山形市保健センター 大会議室において、平成30年度山形県言語聴覚士会 定期総会が開催されました。出席者は66名でありま した。今年度は理事改選の年でありまして、新役員と して伊藤友希氏(日本海総合病院)、宮川栄美子氏 (山形ロイヤル病院)、岩瀬真貴子氏(長生園)、 菊地恵氏(山形市立病院済生館)が承認されました。

また、今回の総会をもって、今まで会長として ご尽力いただきました田口充氏、副会長の大友 美香氏、そして菅根伊代氏の3名が退任となり ました。新たに新会長として荒井晋一氏、副会長 には千葉寛之氏、石川良子氏が就任となりました。 新体制となりました山形県言語聴覚士会ですが、 議題として失語症支援事業について議題として 挙がりました。

出席者が50名ということもあり、空席が目立つ会となりました。会の発展には開院一人一人の高い意識が必要であります。来年度の総会ではさらに多数の会員が出席され、活発な討議がなされることを期待致します。







## 平成 30 年度 第1回 山形県言語聴覚士会主催研修会報告

平成30年6月10日(日)総会に引き続き12時30分より山形保健センターにて第1回研修会を開催し、73名の参加がありました。第1部洞松寺住職小野卓也氏、第2部県立中央病院STの宇野友貴さんという2部構成で、最後に質疑応答を行いました。

第 1 部の小野住職の講演では「コミュニケーションの本質を考える~心に痛みを抱えた方をどのように向き合うか~」と題し、わが身に引き当てた痛みを抱えた方とのコミュニケーション方法や相手に合わせる対機説法、アンガーマネジメントの具体的な方法など住職の立場のみならず文学博士で3児の父、人権擁護委員としての立場からもコミュニケーションの本質に迫る貴重なお話しを伺いました。参加者全員で行った長所マッチングゲームは、会員同士の出会いの場ともなり楽しい研修となりました。

第2部、STの宇野さんからは2017年10月に行われた「失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修会」の参加報告をしていただきました。地域社会の中で失語症者が活動的に暮らすことを支援するための「失語症者向け意思疎通支援者養成事業」が平成30年度以降から開始されます。本事業が開始されるに至る変遷、養成カリキュラムの内容や山形での今後の展開への提案などを報告頂き、初めて事業について知った参加者も多いなかわかりやすいお話しでした。

皆様からのアンケートはたくさんの感想や意見をいただきました。研修内容を振り返るとともに日々の臨床や今後のSTとしての活動の示唆があると思いますので、アンケート結果も公開致します。併せてご参照ください。

今後の研修も多数のご参加をお待ちしております。

(研修部 沼澤明日美)













#### (一社) 山形県言語聴覚士会平成30年度第1回研修会アンケート結果(自由記載全て含む)

平成 30 年 7 月 10 日

日時 : 平成 30 年 6 月 10 日 12:30~14:50

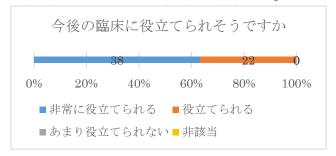
場所 : 山形市保健センター視聴覚室

アンケート回答者数:60名

#### 1. 講演について

第1部「コミュニケーションの本質を考える~心に痛みを抱えた方とどのように向き合うか~」





#### 【感想】

- ・リハビリも人と人、ということに改めて気づいた。
- 心の栄養をもらった。
- ・患者さんとの関わり方について見直すいい機会になりました。長所マッチングゲームが良かった。 「外見や雰囲気から手がかりを見つけ会話を進める」と、後から聞いた時…「あ!そうやって進めた」 と感じられた時ちょっと楽しく、もっとやってみたいと思いました。
- ・怒りについて客観的に捉えられるよう努めたいと思いました。
- ・コミュニケーションをとる時の重要なことを聞けて良かったです。アドバイスをした方が良いと思っていたので今後は気を付けたいと思いました。
- ・患者さんと向き合う上での基本を改めて考えさせられました。自分と向き合ういいきっかけにもなり良かったです。
- ・難しい内容を身近な出来事に置き換えてお話いただき、スーッと理解できました。怒り、イライラの 処理は自分を客観視してコントロールしたいと思います。
- ・慈悲は双方性。リハビリを提供して自分がやさしい気持ちになる場面も多々あるなと改めて感じました。
- ・充実した90分でした。ゲームも楽しかったです。先生の言葉がとても聞き取りやすく、心地よく話を聞かせていただきました。
- ・アドバイスをしない。ということでしたが、仕事上サービスの提案や環境調整といったアドバイスを 求められる事が多く、自分は相手のニーズに応じられているのか考えさせられました。
- ・普段のST研修会では聞けないような貴重な講演だったと思います。
- ・住職の方の話を聞く機会がなかなか無かったものの、とても考えることの多い時間でした。
- ・日頃の患者さんのコミュニケーションを振り返る良い機会となりました。いつも考えて行っている事 を仏教の考えと照らし合わせることができ勉強になりました。
- とても面白かったです。
- ・相手の楽と苦を知るということで、苦については今も意識してコミュニケーションをとっていました。 今後は楽の部分をもっと考えていこうと思いました。

#### 第2部「失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修会参加報告」

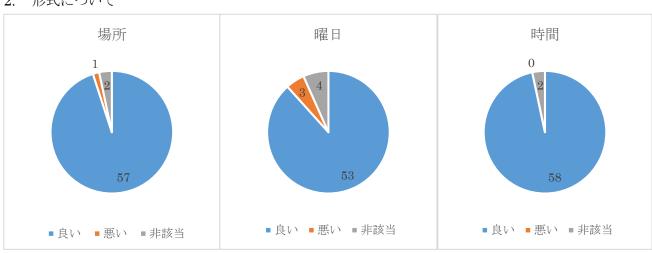




#### 【感想】

- ・これからのために頑張ってください。
- ・学びの機会もお願いします。
- ・必要な事業だと思います。デイサービスの ST 以外のスタッフはぜひ研修を受講すべきだと思う。私 を含め、ぜひうちのデイスタッフも受講したいです。
- ・カリキュラムの中の実習の際に、県内にある失語症友の会支援を兼ねた内容を是非検討していただき たいです。切実に願っています。
- ・事業自体を実行するのに様々な問題が考えられ、難しそうだと思った。説明はわかりやすかったで す。
- ・失語症者のサポートは退院後も必要であり、ST が介入する必要があることがわかりました。今後機 会があったらぜひ参加したいと思いました。
- ・具体的な研修の内容もお聞きしたかったです。
- ・必要性はよく分かりますが、現実的に山形で上手くいくのか、正直まだイメージができないと感じま した。
- ・山形県で取り組む際には、鶴岡ではどういった対応ができるのか考えてみた時、問題提起をどれだけ 強くできるのかが大切な気がしました。
- ・昨年の高次脳機能障害学会でも聞いた講義内容もあり、山形県としての取り組みをどうしていくべき か悩むところだった。事業展開には積極的に参加していきたいと思います。
- ・講義内容はわかったつもりですが、今後具体的にどうなるか、現時点では想像がつきにくいです。山 形らしくってどうなのか。
- ・よくまとまっていてわかりやすかったです。地域で何ができるか一緒に考えていきたいです。

#### 2. 形式について



#### 【感想】

- ・土曜日だと嬉しい
- ・駐車料金がかかるため車で来る人は大変
- ・十曜日を希望します
- ・昼休みが短い
- ・土曜日だとありがたい
- ・駐車場は有料でない方が人は集まると思う
- ・空調を調整してほしい

#### 3. 講師の先生に一言

- ・何かを伝えるという一方的な流れでなく、人としての生き方が求められると感じた。気を引き締めて 初心を忘れず仕事に向き合いたいです。
- ・ありがとうございました。
- ・コミュニケーションの本質「慈悲」について深く考えさせられました。相手の「楽」とは「苦」とは何かを知ること、「慈悲」は一方的ではなく双方で大切であること、素晴らしい学びをありがとうございました。ぜひ職場で役立てたいと思います。
- ・とても良いお話で感銘を受けました。また是非お聞きしたいです。時間が短いように感じました。
- ・小野住職、物腰柔らかというか、とても柔らかい雰囲気のお話でとても心地よく拝聴しました。臨床での会話"与え与えられ"気をつけていきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・アンガーマネジメントがとても参考になりました。いつも怒ってばかりで、今度から怒った時は数値 化してコントロールしてみようと思います。
- ・宇野先生、山形らしい提案ありがとうございました。
- ・コミュニケーションについて改めて考える良い機会となりました。仕事はもちろん、私生活へも大切なことを学ぶことができました。ありがとうございました。
- ・小野先生の話。仏教からの言葉もあり、初めは難しいように感じましたが、とても考えさせられる良い講義となりました。コミュニケーションをもっと深く考えていきたい。
- ・怒りのコントロールを普段の生活でも意識してみようと思いました。
- ・とても分かりやすく楽しい講演だった。今後の臨床にも活かしたい。
- ・住職さんの話を聞かせていただいたのは修学旅行以来でした。コミュニケーションの本質ということで根本的に考えるきっかけとなりました。続けて、失語症者のコミュニケーション支援についても、一人ひとり考えていかなければならない問題と思います。
- お疲れさまでした。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- 大変考えさせられました。
- ・STとして、コミュニケーションの本質を考えることはいかに重要であるかを改めて実感することができました。ありがとうございました。
- ・とても分かりやすい講義をありがとうございました。
- ・今後の臨床に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・我が身に引き当て考える必要性を知ることができました。
- ・とても有意義でした。貴重なお話ありがとうございました。

- とても楽しく聞けました。ありがとうございました。
- ・終始楽しく講義を受けられました。
- ・お二方のコラボによる大変興味深い研修会でした。田口前会長の感想にもあったように、行政の考える構想に小野住職の COM の本質をのせて、ST らしさが出せる事業、取組みにできればいいと感じました。ありがとうございました。
- ・怒りはうつる、なるほどです。自分を客観視することが大切ですね。イライラの少ない母にならねば と思いました。自分の反応は自分の状態に左右されるというのも納得で、だからこそ仕事でも家庭でも 安定していられるように努力が必要と思いました。
- ・同じコミュニケーションのいう枠でも、観点かが違うだけでこれだけの差がでるものだとは思わなかったので、とても興味深い講義でした。ありがとうございました。
- ・分かりやすく興味の持てる講演でした。
- 心がリフレッシュできました。
- ・『我が身に引き当てる』ことは難しく、普段出来ていないと思いました。今後実施してみたいです。
- ・お忙しいところ貴重なお話をしてくださりありがとうございました。
- 4. 次回以降の研修会の希望など
- ・栄養士さんの講義。
- ・小川豊美先生 在宅での食支援。
- ・発達障害についての研修(小児だけでなく、大人の発達障害というのも今よく話題に取り上げられているので、基礎的なところから、評価方法・本人や家族への対応等について講義を聞きたいです。)
- ・認知症者支援について。
- ・昨年、今年同様に医療職以外の研修会が楽しい。
- ・小野先生のように、STのみならず、他職種の方(STと何かしら関連した分野で)の講演を聞く機会を増やしてほしい。また、今回の参加報告のように、全国の動き、県としての取り組みが分かるような参加報告をもっと聞いていきたい。そして、県のST全体で考えていきたいです。
- ・就労支援について ST が出来ることを知りたいです (特に失語症の方)。
- ・働き方についてのお話が聞きたいです。



平成29年度の年会費が未納の方がおります。

早急にお支払いいただきますようお願い申し上げます。

#### 【平成30年度】

入会金: 1,000円 (新規会員のみ)

会 員:7,000円 準会員:3,000円

[振込口座] 振込支店名 : 山形銀行 文園 (フミゾノ) 支店

預金種目 : 普通預金 店番号 : 575 口座番号 : 213292



☆新年度のST市会名簿郵送を希望される方は、事務局までメールもしくはFAXでご請求下さい。 (所属とお名前をお願い致します。核施設に1部の発送となります。)

☆県士会からの郵便物に関して、原則職場に送付させて頂いております。一人職場の方に限り、ご自宅 へ郵送希望をお受けしております。ご了承ください。

#### ☆退会・変更届について

当会の退会を希望される方、職場や郵便物送付先や姓の変更等を申し出る方は、届出を事務局に 郵送または FAX にてご送付ください。

「入会届」「退会届」「変更届」は当会 HP からダウンロード可能です。もしくは事務局にご連絡頂ければ、郵送にてお渡ししています。

☆当県士会は日本言語聴覚士協会の下部組織となっている為、できるだけ多くの会員の皆様に協会への 入会をお願いしております。

問い合わせ先 一般社団法人 山形県言語聴覚士会 事務局

₹990-2313

山形市松原 800-5

合同ヴォーチェ / まなびのヘやバンビーナ松原

TEL: 023-674-6015 / FAX: 023-674-6106

E-mail: gengoshikai@yahoo.co.jp